

■ 未来へつなぐエネルギーの活用

本道が有する豊富な再生可能エネルギーの活用を加速するとともに、ゼロカーボン北海道を担う産業の振興を図ります。

(政策展開の方向性)

高いポテンシャルを持つ洋上風力の整備に向け、道内での促進区域や基地港湾の指定を目指した取組を進めます。また、エネルギー効率の向上に資するメイドイン北海道の次世代半導体の実現に向けて取り組み、グリーン水素をはじめCCUSなど新たな技術の活用、バイオマスや太陽光発電など地域の再生可能エネルギーの活用を加速しながら、ゼロカーボン北海道を担う産業の振興を図り、我が国のエネルギーミックスの実現に貢献します。原発は、安全性が確保されることが大前提であり、再稼働については原子力安全規制委員会の厳正な審査を踏まえ総合的に判断します。

区分	主な取組	備考 (施策Code)
原子力安全対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○北海道地域防災計画(原子力防災計画編)の修正により、原子力防災体制を充実・強化【R3:1回、R4:1回、R5:1回修正予定】 ○関係機関の連携、防災技術の向上に向け、原子力防災訓練を実施【R3:2回、R4:2回、R5:2回実施予定】 ○各種広報誌を関係自治体世帯等へ配付し、原子力防災対策等の知識の普及・啓発を促進【R3:2回、R4:2回、R5:2回配付予定】 	0102
省エネルギーの促進と新エネルギーの最大限の活用	<ul style="list-style-type: none"> ○市町村等による取組への支援を通じて、新エネルギーの導入拡大を促進 <ul style="list-style-type: none"> エネルギー地産地消の先駆的モデルとなる取組への複数年支援【H29～R3:3件、H30～R3:1件】 自立分散型エネルギーシステム導入や地域マイクログリッドなどの構築を支援【R4:3件】 新エネの設備導入支援【R2:6件、R3:4件、R4:1件】 地熱井掘削の取組を支援【R2:1件、R3:1件、R4:1件】 コーディネーター派遣による事業掘り起こしから実施までを支援【(市町村数)R2:14、R3:31、R4:35】 地熱・温泉熱の利活用に関するアドバイザーを派遣【R2:1件、R3:4件、R4:7件】 ○環境関連産業の技術開発や事業化、販路拡大等の支援 <ul style="list-style-type: none"> マーケティング調査、製品開発補助や販路拡大支援を実施【補助:2件、ENEX参加企業:19社】 ○洋上風力発電の導入促進などに向け、地域への理解促進、関係機関による意見交換とともに、国への要望を実施 <ul style="list-style-type: none"> 住民説明会等(R4.12～R5.2:7回)やセミナー(R5.2)の開催、北海道洋上風力推進連携会議(R5.6)の開催、洋上風力発電の導入加速化と関連産業の集積促進等について国へ要望(R5.6) ○道内企業の水素関連産業への参入促進を図る取組 <ul style="list-style-type: none"> 相談対応・企業間連携・マッチング支援【R2:個別相談(試行)延べ2件、R3:1,109件のアンケート調査と総合相談窓口の設置。個別相談延べ14件、地域勉強会(道北及び道東地域)各3回実施、逆見本市1回】 動機づけから事業化への可能性検討など、段階に応じたサポート【R4:道内企業22社】 取組意欲の向上やステップアップを目指すための地域勉強会【R4:6回】 展示イベント出展【R4:1回】 	0502
災害にも活用できるエネルギー事業環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ○再エネ導入拡大のための電力基盤増強、海底直流送電の着実な整備など、国への要望を実施(R5.5) ○電力インフラのレジリエンス強化に向けた取組の推進を国に求めたほか、災害時における円滑な燃料供給に向け重要施設情報の更新を実施 	0503

(続き)

区分	主な取組	備考 (施策Code)
企業誘致の推進・集積の促進	○Rapidus社による次世代半導体製造拠点の整備が円滑に進められるよう、北海道次世代半導体産業立地推進本部や北海道次世代半導体産業立地連携会議を設置(R5.3)するなど支援体制を整備したほか、道民の皆様が次世代半導体に関する関心を深めていただくためのセミナーや説明会等を開催(R5.4・5・7) ○半導体の製造に必要な不可欠な用排水整備等のインフラ整備について、国、千歳市、Rapidus社と緊密に連携しながら、協議、調整を実施	0508
環境・エネルギー産業の振興	○地域へのコーディネーター派遣により、新エネ導入事業の掘り起こしから実施までを支援【R2:14市町村、R3:31市町村、R4:35市町村】 ○洋上風力発電の導入促進などに向け、地域への理解促進、関係機関による意見交換、国への要望を実施 住民説明会等(R4.12~R5.2:7回)やセミナー(R5.2)の開催 北海道洋上風力推進連携会議(R5.6)の開催 洋上風力発電の導入加速化と関連産業の集積促進等について、国へ要望(R5.6) ○環境関連産業の技術開発や事業化、販路拡大等に向け、マーケティング調査、製品開発補助や販路拡大支援を実施【補助:2件、ENEX参加企業:19社】 ○クリーンコールテクノロジーの開発促進に向け、「坑内保安確保施設整備費補助金」及び「道内炭層エネルギー等利活用促進事業費補助金」による支援を実施 ○高圧ガス及び火薬類等の指導取締りや休廃止鉱山鉱害防止対策工事等への補助を実施し、公共の安全を確保 ○国のCCS大規模実証実験の確実な実施に向けた取組を実施 ◇苫小牧地域におけるCCUSの事業化に向けた取組への支援、北海道の地域特性を活かした脱炭素化技術に係る実証事業の実施について国に要望(R5.6)	0512
地域資源を活用したエネルギーの導入促進	○道内企業の水素関連産業への参入促進を図るため、相談対応・企業間連携・マッチング支援を実施【R2:個別相談(試行)延べ2件、R3:1,109件のアンケート調査と総合相談窓口の設置、個別相談延べ14件、地域勉強会(道北及び道東地域)各3回実施、逆見本市1回】 ○水素ビジネスへの取組の動機づけから事業化への可能性検討など、参入に向けた取組の段階に応じたサポートを実施【R4:道内企業22社】 ○水素関連産業に関する取組意欲の向上やステップアップを目指すための地域勉強会【R4:6回】 ○展示イベント出展(R4:1回)による道内企業への水素産業参入や水素利活用に向けた理解促進	0524
水力発電によるエネルギーの安定供給への寄与	○改修事業を行っていた清水沢発電所においてはR3.4から運転を再開し、電力の安定供給に貢献 ○岩尾内発電所改修事業においては「実施設計業務委託」(R4.4~R5.3)により、工事発注のための準備を実施	1002

※主な取組については、令和5年度基本評価・事務事業評価調書(「○~」)、道ホームページ(「◇~」)より引用・作成